

ニュースレター No.17

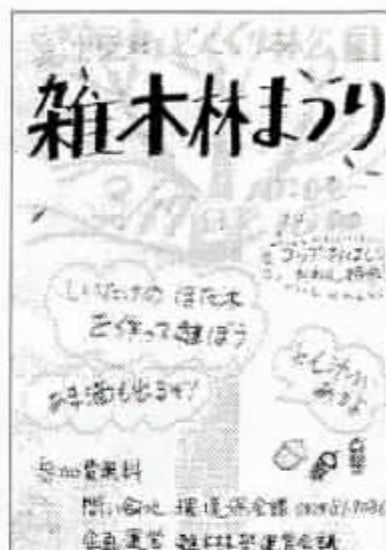
発行：2002年4月

◆2001年度雑木林塾の締めくくり

雑木林の保全を市民自らの手で行うことを目的とした学習会の締めくくりが、3月17日（日）どんぐり林公園（市内富士見町）で行われました。名簿に記入していない人も含めると60人くらいの方が参加され、盛会でした。

9時から豚汁の準備を始め、10時から「雑木林まつり」を開会、子供の遊び道具としてロープを使った簡単なアスレチックをつくるかわら、春の花がいっぱいの公園内で講師の小出さんと丸山さんのお二人による自然観察会がスタート、たくさんの「春」を見つけることができました。また、ロープによるアスレチックは簡単な割に子供たちに人気で、意外な発見。

メインイベントのコナラの伐採もなれない手つきながら、みごとに切り倒すことができ、歓声が上がりました。樹齢は64年、伐採適齢期と燃料革命の時期と一致します。おいしい豚汁でお昼をとって、伐採したコナラの玉切り、椎茸菌のコマ打ちと、楽しく、気持ちいい汗をかくことができました。最後は、奥の草原に座り込んで、甘酒をいただきながらのまとめの話し合いで締めくくりました。みなさんのすがすがしい笑顔が印象的でした。



佐藤さんの感想 第5回講座で作ったポスターに近所に配布し、掲示板に貼りました。

◆どんぐり林公園で観察した野草（丸山さんの記録）◆

アズマネザサ	スズメノカタビラ	ハハコグサ
ウラボシチチコグサ	セイヨウタンポポ	ヒガンバナ
オオイヌノフグリ	タチツボスミレ	ヒメオドリコソウ
オランダミミナグサ	タネツケバナ	フキノトウ
カラスノエンドウ	ツルボ	ホトケノザ
クサボケ	ドクダミ	マツヨイグサ
ショカツサイ	ナズナ	マンネングサ
ジシバリ	ニリンソウ	ムラサキケマン
ジャノヒゲ	ノゲシ	ムラサキハナニラ
スイセン	ノビル	ヤエムグラ
スギナ	ハコベ	

3月17日 雑木林塾最終回 イベントを催す日です。

朝からスタッフ総出で豚汁作り。大きな鍋に具がいっぱい、なかなか沸騰しなくて四苦八苦、やっとのことでおいしい豚汁が出来上がりました。10時前、どんぐり林公園に移り野草観察、ニリンソウを発見したり、どんぐりの実生の芽生えをみたり、すっかり春です。

いよいよ伐採、みんなゴシゴシ、のこぎりと格闘、地響きと共に切り倒しました。なんと切り口は、つるつる、みんなの努力がしのべれます。今度はしいだけのこま打ち、なかなか思う位置に穴があきません。かなづちでコンコン、道具が可哀想。子どもたちはロープ遊びに夢中、お気に入りのようです。おいしい豚汁でお昼、3時には甘酒を飲んで楽しい1日を過ごしました。

●ちょうふの自然

冬の樹木調査の一つとして市内の松の分布を調べました。柴崎2丁目、神代中学と上野原小学校の辺りには立派なアカマツが多く、子供たちの姿をずっと見てきた松が、切られずに残されたんだなと思うと少し嬉しくなりました。（道路の真ん中にもそびえています）。

反対に入間町、糖嶺神社の有名なクロマツは、この3年で2本が枯れてしまいました。放置してある植木畑や雑木林の公園の松も、少しずつ減っているように感じます。

本の受け売りですが、松を枯らすのは「台風と公害と松喰虫」とあり、排気ガスなどの煤煙が葉の気孔につまると呼吸できなくなって枯れるのだそうです。松の状態や枯死の原因を調べることで大気などの環境の変化がわかるはずだと思いました。このことを調べたのは後になってですが、松の調査をしてよかったと感じました。（調布ヶ丘 近藤光広）

←「ちょうふの自然」は、調布の自然を調べている環境モニター活動の参加者の紀行文です。

一 内 容

雑木林塾の締めくくり
調布市内の活動報告
特集「調布のさくら」
イベント情報

調布市内での活動報告!

入間・樹林の会 (第3回 現地管理作業)

3月24日、桜真っ盛り、お花見に最高の日曜日に、3回目の現地管理作業を行いました。人数は、23名といつもより少なめでしたが、マテバシイの伐採、玉きり、しいたけのコマ打ち等の作業をしました。はじめての参加者の中に、コマ打ちの経験者がいて指導もしてくださり、今後の会の有力メンバーになると期待しています。作業前の樹林地内の自然観察会では、マムシグサかテンナンショウか今後の生長を楽しみにできる植物を発見しました。昨年伐採した場所は明るく日がさし、さらに一本を伐採したあとの樹林地の今後が楽しみです。

午後の観察会では、ソクズやガマズミなど富田さんから珍しいといわれる植物も教えられ、ますます色々な発見や林の今後の管理の楽しみが増してきました。



コマ打ちの説明



コマ打ちの様子

こどもエコクラブ

3月9日(土)調布駅前南口広場の木を調べてみよう。常緑・落葉広葉樹の見分けやすいこの時季の観察です。日頃見過ごしていたが、こんな木もあったのかと気付かされたり、小さな実生の木を何本か見つけて感心したり、ユキツバキの枝の間に座って花のようになってみる子、アオギリの太い幹のポコポコしたのはどうしてなんだろうと身を寄せてさわってみる。最後に皆で選んだ一本のクスノキ、指を使ってシャクトリ虫のようにして、地上120cmの目通りを測る。体を使っての物差しは、1~2cmの誤差はあったものの正解(141cm)に近い。

次回(4/21)は、葉も出揃って緑の色も増していることでしょう。



環境モニター活動

3月10日(日)第3回ガイドウォークは晴天で気温も高く絶好のウォーク日和となり、参加者は主催者の予想を越えて30余名でした。崖線の雑木林にホッとしながらも、宅地開発によってだんだんに削られていく実態も目で見ることができました。太いケヤキが何本も切られており、まだ樹脂が残っているような切り株には心がいたみました。野の花一つひとつをガイド役のSさんが説明してくださり、調査時に見損なった“ツルボ”や“キツネノカミソリ”の株の群生に、今年の秋にまた来る楽しみができました。ガイドウォークは調布の再発見ができ、好評です。まさかのミモザの黄色が印象に残りました。アンケート回答者24名のうち「また参加したい」が23名でした。

これから春の植物調査になります。つくし(スギナ)、シロツメクサ、ムラサキケマン、ムラサキサギゴケと雑木林の野草です。あっという間の春の訪れに調査が間に合うのかと心配です。

ちょうふDE田んぼ日記その11「佐須用水」

私たちの田んぼを支えている佐須用水は、かつて神代農場(都立農業高校)から野川合流点までの両岸一体に田んぼがあり、それだけの田んぼを維持できるほどの水量がありました。このあたりの農家には皆井戸があり、田んぼに水が入るようになって見ると水位が上がったそうです。田んぼが地下水を涵養していることは明らかです。なぜそれほどの水量があったのか良く考えると不思議な話です。実は深大寺用水からの漏水(浸透水)があったからだというお話(竹内氏談)でした。これは重大なことで、ぜひとも検証してみる価値があります。

(野川で遊ぶまちづくりの会 尾辻)



ニリンソウ



今年の春は早かったですよね。私はいつも某都立公園のカタクリで早春を感じるのですが、今年はあるという間に桜が散りかけています。昨年は3月31日に訪れて、みぞれに降られたというのに！

今回より、このP3を特集のページとして、市域の様々な自然の情報や環境保全活動を紹介していきます。そこで今回は、春といえば「さくら」、現在市内のいたるところで桜が満開です。この号が出るまで残っていてくれるでしょうか？

●ソメイヨシノの見所ベスト10●

- ① 野川いこいの水辺(武蔵野市場)
- ② 野川細田橋上流
- ③ 柴崎公園
- ④ 航空宇宙技術研究所
- ⑤ NTT中央学園
- ⑥ 上の原保育園
- ⑦ 調布中学校
- ⑧ 多摩川(多摩川住宅)
- ⑨ 神代植物園
- ⑩ 東京天文台(番外)

④航空宇宙技術研究所

⑨神代植物園周辺

①野川いこいの水辺
ライトアップされた夜桜

⑧多摩川

③柴崎公園

⑤NTT中央学園

②野川細田橋上流

⑥上の原保育園

⑦調布中学校

⑩東京天文台(番外)

田んぼの学校

どんぐり林公園(雑木林塾)

子どもエコクラブ

入間・樹林の会

ガイドウォーク

野川

多摩川

「さくら」うんちく

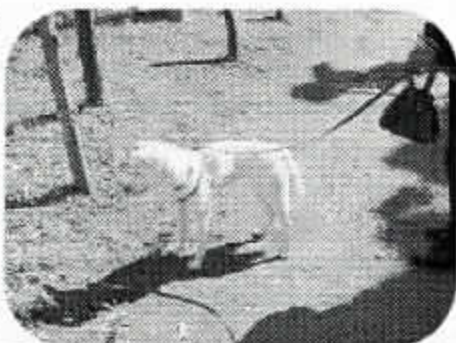
日本には野生100種類、園芸品種200～300種類あるといわれています。花見好きの日本人にとって、もっとも人気のある木です。ソメイヨシノは、江戸駒込の染井村の植木商から広まったといわれ、ヨシノはあの京都の吉野村に由来するといわれています。

は、活動報告にある場所です。

※次号の企画お待ちしております！

窓からの風景

以前この欄でご紹介しました我が家の愛犬の蘭(らん)は、狼犬の血統を受け継いでいます。毎日、深大寺周辺を闊歩し、クンクン臭いを嗅ぎまくっていますが、自宅近くの側溝で特にご執心な箇所があります。春になったある日、飛ぶようにその側溝に殺到しました。側溝の端から丁寧に臭いを嗅ぎ始め、ある箇所では動かなくなりました。因みに私と遊ぶ時以外は、一切うなったり、無駄吠えはしません。犬の鼻先でフーツと動物の威嚇音がしているのです。よく見るとタヌキの顔がのぞいてました。下半身が位置すると思われる穴からは、腰が見えたので、思わず指でつつんと、体を反転させて威嚇してきました。深大寺のタヌキです。タヌキがいるとの話はよく聞いていましたが、実際に確認したのは初めてです。多摩川小での中本賢さんの話では、多摩川のタヌキが野川沿いに成城まで進出しているとのことでしたが、深大寺周辺では里山の典型的な哺乳類であるタヌキが、過去から深大寺産の遺伝子を連綿と伝えているのかもしれない。



愛犬のらんです。タヌキの写真が撮れないので愛犬で勤弁してください。

参加しませんか？

● 野川・里山探検隊

日 時：4月14日(日) 10:00~16:00
 集合場所：野草園前自然広場
 持ち物：昼食、飲み物、タオル、筆記用具等
 春の野草の観察と野草摘みを行います。摘んだ野草は、お返に天ぷらにさせていただきます。午後はザリガニ釣りを行います。

● 入間・樹林の会 (春の植生調査)

日 時：4月21日(日) 9:30~12:00
 集合場所：入間地域福祉センター
 (場所のわからない方は仙川駅前9時集合)
 持ち物：筆記用具等
 方形枠の植生調査を行います。場合によっては午後も。

● こどもエコクラブ (雨天中止)

日 時：4月21日(日) 10:00~12:30
 集合場所：市役所8階 第8会議室
 持ち物：筆記用具(色鉛筆、クレヨン等)、
 (前回の参加者は「葉っぱ判定士」のパンフレット)
 調布駅南口広場の街路樹ウォッチングを行います。身近な木を調べてみましょう。

● どんぐり林公園 その後の集まり

日 時：4月23日(火) 19:00~20:30
 集合場所：富士見地域福祉センター
 雑木林塾受講生、近所の方、調布の自然に興味のある方、みんなでどんぐり林公園の管理や利用について話をしましょう。

(お申込み・お問合せ 環境部環境保全課まで)

メンバー募集

◆ 野川・里山探検隊 隊員募集!

今年度も6回の自然体験活動を行います。野川の生物観察や、カニ山でのキャンプ、多摩川の鳥の観察や秋の虫観察、どんぐりの工作、春の七草探し、炭焼きなどを予定しています。
 対象：市内在住・在学の中中学生以下
 申込み：5月9日までに電話で環境保全課へ
 (隊員には今後の活動の開催前に通知をいたします)

◆ 環境モニター

調布市内の自然と一緒に調査してみませんか。季節ごとにいくつかの調布の自然(植物・野鳥など)を対象に調査を行います。調査対象は、環境モニターが話し合っ決めて決めます。また、調査の経験や知識を活かし、ガイドウォークを行います。初めて参加される方のためにオリエンテーションを行います。ぜひご参加ください。
 日 時：5月11日(土) 午前10時~12時ごろ
 場 所：深大寺周辺を予定しています。
 申込み：5月10日までに電話で環境保全課へ

その他の情報

■ 都立平山城址公園 ヤマフキソウ祭り

日 時：4月20日(土)、21日(日) 9:30~
 場 所：京王線平山城址公園駅集合
 持ち物：弁当、水筒、軍手、歩きやすい服装
 参加費：50円(保険料1日分)
 主 催：多摩丘陵の自然を守る会、自然教育研究センター、桜ヶ丘公園管理所
 問合せ：桜ヶ丘公園管理所(042-375-1240)

■ 田んぼのめくみ「生きもの目録」シンポジウム

テーマ…百姓仕事と生きもののにぎわい
 日 時：4月13日(土) 10:00~17:00
 場 所：東京大学弥生講堂(文京区弥生1-1-1)
 主 催：農と自然の研究所
 問合せ先(主催者)
 〒819-1631 福岡県糸島郡二丈町田地原 1168
 電話・FAX 092-326-5595
 e-mail n-une@mb7.seikyoe.ne.jp

<会議のスケジュール>

日 時	場 所	活動名/内容
4月1日(月) 18:30~20:30	市役所6階 第5会議室	環境モニター 世話人会 今年度の活動計画
4月8日(月) 18:30~20:30	市役所8階 第8会議室	環境モニター 連絡会 冬の調査のまとめと活動計画
4月10日(水) 18:30~20:30	市役所8階 第8会議室	入間・樹林の会 世話人会 21日の内容について
4月18日(木) 18:30~20:30	市役所6階 図書室	雑木林塾 運営会議 今年度の取り組みについて
4月19日(金) 18:30~20:30	市役所6階 図書室	環境市民懇談会 連絡会議 情報交換と今年度の取り組み
4月23日(火) 19:00~20:30	富士見地域 福祉センター	どんぐり林公園その後の会 公園の保全に向けた会の進め方

ちょうふ環境市民懇談会では、日常的に情報の交換を行うためにメーリングリストを立ち上げました。
 お問合せは尾辻(e-mail: kp5y-01j@asahi-net.or.jp)まで
 ◎ニュースレターが不要な方は環境保全課までご連絡ください。

ちょうふ環境市民懇談会は、調布市内の自然環境を保全・改善・回復していくために、「話し合いの場や、活動の交流・支援、人材育成、啓発活動、情報の収集や発信」といった活動を、パートナーシップをもとに進めていくことを目的に設立されました。ぜひ、様々な環境保全活動へ参加してください。

●次回連絡会議 2002年4月19日(金) ● ◆ニュースレター編集作業 4月22日(月) ◆
 市役所6階図書室 18:30~20:30 市役所1F市民フォーラム室 13:30~16:30

※日時は未定ですが、ニュースレターの発送ボランティアも募集します。(GW直前の平日になると思います)

お問合せ先：調布市環境部環境保全課 倉林 TEL: 0424-81-7086

発行：ちょうふ環境市民懇談会

E-mail: kankyuu@w2.city.chofu.tokyo.jp

自然環境の学習や保全に関する情報を募集しています。また、様々なお便りも募集しています。